

作/ Lyle Kessler [ライル・ケスラー]

上演台本・演出/浅野佳成

バリアフリー演劇 総合監修/尾上浩二

バリアフリー演劇 芸術監督/北岡賢剛

上演/東京演劇集団 風

合計80名様へ
総額30万円相当の景品が当たる
ライブ・エール
スタンプラリー

ニューヨークで
絶賛を浴びた
現代劇

みんなで

つくる

バリアフリー演劇

Touch

～孤独から愛へ～ORPHANS

2023

10月3日(火) 開場 9:30 開演 10:00

(9:55から舞台説明)

パルセいいざか

(福島市飯坂温泉観光会館)

〒960-0201

福島市飯坂町字筑前27-1 TEL:024-542-2121

バリアフリー演劇とは

目の不自由な方や、耳の不自由な方も、みんなで一緒に舞台を楽しめるように、様々な鑑賞サポートを取り入れた演劇を「バリアフリー演劇」と呼んでいます。セリフの字幕表示や音声ガイドを提供するほかシナリオや演出にも工夫を加えていこうという新しい試みです。詳しくはwebサイトへ

舞台説明

劇団員が、バリアフリー演劇のサポート内容などを紹介します。

舞台上での手話通訳

手話通訳者が役者として舞台上に登場し、物語の進行に合わせて、手話でストーリーを表現します。

バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド

セリフなど音の情報を舞台背景に字幕で表示し、俳優の動き、表情などを客席に流れる音声ガイドで解説します。

全席自由(学校指定席は除く)

一般 2,000円 / 障がい者一般 1,000円 / 大学生以下 1,000円 / 障がい者大学生以下 500円

チケット販売中

福島県文化センタープレイガイド/インターネットチケット販売「カンフェティ」

アクセス JR福島駅より福島交通飯坂線で約21分、終点の飯坂温泉駅より徒歩約8分
東北自動車道「福島飯坂インター」から米沢～飯坂温泉方面へ約5km、車で約10分

お問合せ: とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター) 024-534-9191 〒960-8116 福島市春日町5-54/FAX:024-536-1926/MAIL:culture@fcp.or.jp

主催: 公益財団法人福島県文化振興財団/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 共催: 福島県

後援:

福島県教育委員会/福島民報社/福島民友新聞社/朝日新聞 福島総局/毎日新聞福島支局/読売新聞東京本社福島支局/産経新聞福島支局/河北新報社/時事通信社 福島支局/共同通信社 福島支局/NHK福島放送局/ラジオ福島/福島テレビ/福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/ふくしまFM/公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会/一般社団法人福島県聴覚障害者協会

協力:

社会福祉法人福島県共同募金会/福島県商工会議所連合会/福島商工会議所/郡山商工会議所/会津若松商工会議所/いわき商工会議所/白河商工会議所/原町商工会議所/会津喜多方商工会議所/相馬商工会議所/須賀川商工会議所/二本松商工会議所

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))|独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名: JAPAN LIVE YELL project



福島県文化芸術連携事業
JAPAN LIVE YELL project in ふくしま

作品介绍

「Touch ～孤独から愛へ～」(原題「ORPHANS(孤児たち)」は、1985年にシカゴで初演され、ニューヨークのオフブロードウェイで絶賛を浴び、1987年には映画化もされた作品です。作者ライル・ケスラーはニューヨーク、ロサンゼルスを中心に、演劇の持つ創造性を使って、リスクを負っている子どもたち、精神治療を必要とする患者、ホームレスの人たちとのワークショップを30年以上に渡って行い、閉ざされた心を開いていく活動を実践しています。この作品も、そこでの経験を通じて描かれたものです。

あらすじ

北フィラデルフィアのアパートの一室。アレルギーの発作でほとんど外に出られない弟フィリップと、不良の兄トリート、2人の孤児の兄弟が暮らしている。ある日、2人の前に現れた謎の紳士ハロルド。ハロルドは彼らを「デット・エンド・キッド(行き止まりの子どもたち)」と呼び、「元気づけてあげよう」と手を差し伸べる。次第に心を開いていくフィリップ、それとは対照的に触れ合いを拒絶するトリート。「孤児」である3人の出会いが、孤独を抱えながらも、真剣に相手と向き合うことで、新たな一歩を発見していく。

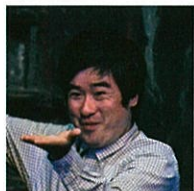
東京演劇集団 風の紹介

〈今、なぜ演劇なのか、この時代、この社会において演劇の為すべきことは何であるか〉という問いで、1987年、東京演劇集団風は設立された。以後、ロシアの作家チェーホフや20世紀を代表するドイツの亡命作家ブレヒトの作品を柱に東京での上演活動を展開すると同時に、青少年を対象とした全国ツアーも意欲的に行っている。2019年、「バリアフリー演劇」を開始。これまでの舞台を、目の不自由な方や耳の不自由な方とも一緒に共有できるよう、「バリアフリー」の舞台づくりに挑戦している。

キャスト



トリート:佐野準
(福島市出身)



フィリップ:佐藤勇太



ハロルド:柳瀬太一



舞台手話通訳:小島祐美


音声ガイド:辻由美子

訳:小田島恒志
音楽:八幡茂

舞台美術:水野統夫
照明:坂野貢也

JAPAN LIVE YELL project in ふくしま


JAPAN LIVE YELL project in ふくしまの公式ホームページでは、各イベントの告知や報告などをお知らせする予定です。さらに、公式SNSでは、公演に向けたリハーサルの様子やイベントの様子などを投稿予定です。ぜひフォローをお願いします！




スタンプラリー

80名様に総額30万円相当の景品が当たる「ライブ・エール・スタンプラリー」実施中。豪華景品をゲットしてください！

<https://fukushima-liveyell.jp/stamp/>





公式ホームページ

全22企画の詳細やスタンプラリーの景品詳細、インタビュー動画等を掲載します。スタンプラリーで豪華景品をゲット！

<https://fukushima-liveyell.jp/>





公式 Twitter

リハーサルの様子やイベント当日の様子など日々の出来事をつぶやきます。

@fukushima.live





公式 Facebook

イベント告知やイベントレポートなど、各企画のみどころを公開予定。

<https://fb.me/fukushimaliveyell>

